

(小規模企業景気動向調査)

三重の景況

No.81

(令和4年7月～12月期)

三重県商工会議所連合会
桑名商工会議所
四日市商工会議所
鈴鹿商工会議所
亀山商工会議所
津商工会議所
松阪商工会議所
伊勢商工会議所
鳥羽商工会議所
上野商工会議所
名張商工会議所
尾鷲商工会議所
熊野商工会議所

はじめに（総括）

県内 12 商工会議所では、地区の小規模企業を対象とした景況調査を年 2 回実施しています。このたび令和 4 年下期の調査結果がまとまりましたのでご報告します。

三重県内の景況を示す指標である「現状」の D I 値は、▲28.1 と令和 4 年上期に比べ 4.8 ポイント改善しました。

業種別の「現状」D I 値は、製造業▲22.9（前期▲35.0）、建設業▲24.4（前期▲27.9）、卸売業▲31.9（前期▲41.6）、小売業▲49.7（前期▲53.3）、飲食業▲17.1（前期▲21.1）、サービス業▲23.5（前期▲23.5）、交通運輸業▲32.6（前期▲49.0）、その他の業種▲29.7（前期▲22.3）と、サービス業を除くすべての業種で改善し、サービス業はほぼ横ばいとなりました。

地区別の「現状」D I 値は、北勢地区▲26.3（前期▲29.3）、中勢地区▲32.9（前期▲40.3）、南勢地区▲24.2（前期▲25.8）、伊賀地区▲26.6（前期▲40.2）、東紀州地区▲36.9（前期▲43.2）となり、すべての地区で改善しました。

また、「今後の見通し」の D I 値は▲31.5 となり、現状の D I 値（▲27.8）と比較すると 3.7 ポイントの悪化を見通しています。業種別では、卸売業・交通運輸業・その他の業種では改善の見通し、製造業・建設業・小売業・飲食業・サービス業では悪化の見通しとなり、地区別では、南勢地区と伊賀地区を除くすべての地区で悪化の見通しとなりました。

「売上状況」「利益状況」「販売条件」の全体 D I 値は改善となり、「仕入条件」は悪化となりました。

地区別では「売上状況」「利益状況」は南勢地区を除くすべての地区で改善、「販売条件」は北勢地区と東紀州地区で改善、「仕入条件」は北勢地区のみ改善となりました。

景気の方角性を示す「設備投資」の項目は、「行った」とした割合が全体で 16.1%（前期 15.1%）と 1.0 ポイント増加し、「予定している」とした割合は、全体で 13.8%（前期 14.2%）と、0.4 ポイント減少しました。

「借入の状況（難易度）」の D I 値は、全体で▲0.4（前期▲1.0）とほぼ横ばい、「借入を予定している」と回答した企業の割合は 13.1%（前期 12.7%）、「使途予定」については『運転資金』の割合は 58.5%（前期 64.5%）、『設備資金』の割合は 37.5%（前期 32.1%）となりました。

以上が本調査結果の概要です。本調査報告書が皆様の今後の企業経営の参考や小規模企業に対する皆様の更なる理解に資することになれば幸いに存じます。

最後に本調査の実施、作成にあたりましては、調査対象企業をはじめ関係各位の皆様にご協力を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

令和 5 年 2 月

三重県商工会議所連合会

も く じ

(調 査 内 容)

・ 調査要領	1
1. 現状と今後の見通し	4
現況D I 値の推移	6
2. 売上状況	8
3. 今後の売上見通し	8
4. 利益状況	9
5. 販売条件	10
6. 仕入条件	10
7. 設備投資	11
8. 資金繰り状況と今後の見通し	12
9. 借入状況	13
借入難易度D I 値の推移	14
10. 借入予定	15
11. 借入希望先	15
12. 借入金の使途予定	16
13. 経営上の問題点	16
・ 県内商工会議所地区の景況	18
・ 景況調査票	

「三重の景況」調査要領

1. 調査目的

当調査は、三重県商工会議所連合会と県内 12 商工会議所〔*1〕が、小規模企業〔*2〕の動向を合同で調査することにより、県内小規模企業の景況把握を、地区別〔*3〕に行い、合わせて各会議所地区の景況を調査することにより、各商工会議所の事業活動の参考とすることを目的とする。

〔* 1〕 県内商工会議所

桑 名商工会議所	中小企業相談所
四日市商工会議所	中小企業相談所
鈴 鹿商工会議所	中小企業相談所
亀 山商工会議所	中小企業相談所
津 商工会議所	中小企業相談所
松 阪商工会議所	中小企業相談所
伊 勢商工会議所	中小企業相談所
鳥 羽商工会議所	中小企業相談所
上 野商工会議所	中小企業相談所
名 張商工会議所	中小企業相談所
尾 鷲商工会議所	中小企業相談所
熊 野商工会議所	中小企業相談所

〔* 2〕 小規模企業（中小企業基本法による）

卸売・小売・サービス業は従業員 5 人以下（宿泊業・娯楽業は 20 人以下）、
製造・建設・その他の業種については 20 人以下。
（会社の役員・家族従業員・パートを除く）

〔* 3〕 県内各地区は下記のとおり

北勢地区……桑名・四日市・鈴鹿・亀山
中勢地区……津・松阪
南勢地区……伊勢・鳥羽
伊賀地区……上野・名張
東紀州地区…尾鷲・熊野

2. 調査対象・回答状況

県内 12 商工会議所の会員企業中、任意抽出した小規模企業 9,690 事業所を対象とした。回答状況は、回答率 25.4%、回答企業 2,458 事業所であった。

3. 調査方法

F A X または郵送方法によるアンケート方式

4. 調査期間

令和 5 年 1 月 4 日～1 月 16 日

※ 当調査は、“1 月～6 月期”と“7 月～12 月期”の年 2 回、前年同期比の D I 値による調査を実施している。

5. 集計方法

外部委託を行い、一括コンピュータ集計を行った。

6. 調査結果の取りまとめ

調査結果の取りまとめについては、松阪・名張・上野の 3 商工会議所が担当した。

なお、各商工会議所地区の景況は当該商工会議所が担当した。

D I 値（ディフュージョン・インデックス）の見方について

D I とは景気動向を示す指標で、調査時点における企業家の経済行動（強気や弱気など）を知るものであり、景気動向を客観的に判断する資料として幅広く使用されているもので、特に言及のない限り、「増加」「好転」したとする企業割合から、「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

（注）図表中の数値表示について

図表中の数値については小数点以下第 2 桁で四捨五入をしているため、合計が 100.0 にならない場合がある。（マイナスは▲表示）

業種別・地区別回答状況

単位：企業（ ）：％ 上：業種別構成率 下：地区別構成率

業種	地区	北勢				中勢			南勢			伊賀		東紀州			計			
		桑名	四日市	鈴鹿	亀山	津	松阪		伊勢	鳥羽		上野	名張		尾鷲	熊野				
製造業	食料	52	11	25	13	3	21	6	15	20	12	8	6	3	3	15	11	4	114	
	せんい	7	2	3	2	0	1	1	0	0	0	0	8	7	1	1	1	0	17	
	機械	59	28	21	8	2	8	0	8	11	2	9	1	1	0	1	1	0	80	
	金属製品	83	33	19	22	9	12	5	7	6	3	3	4	3	1	3	3	0	108	
	木材	17	8	6	1	2	13	0	13	3	3	0	2	2	0	14	10	4	49	
	化学	10	2	5	1	2	1	1	0	0	0	0	3	0	3	0	0	0	14	
	窯業	15	0	13	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	16	
	印刷出版	12	5	2	4	1	15	8	7	4	4	0	1	0	1	2	1	1	34	
	その他	61	22	22	13	4	19	4	15	11	8	3	5	0	5	6	4	2	102	
	計	316 (20.9) (54.6)	111	116	65	24	90 (19.0) (17.2)	25	65	55 (18.9) (10.8)	32	23	30 (22.6) (8.5)	16	14	43 (21.9) (8.9)	32	11	534 (20.5) (100.0)	
非製造業	建設業	土木工事	84	17	44	20	3	22	8	14	16	8	8	12	3	9	8	4	4	142
		建築工事	160	31	82	40	7	55	23	32	16	11	5	11	7	4	13	10	3	255
		その他	135	23	73	34	5	43	21	22	10	8	2	14	5	9	11	7	4	213
		(小計)	379	71	199	94	15	120	52	68	42	27	15	37	15	22	32	21	11	610
	卸売業	食料	15	7	5	2	1	5	0	5	5	3	2	2	0	2	10	7	3	37
		せんい	5	0	5	0	0	2	1	1	2	2	0	3	3	0	0	0	0	12
		その他	52	18	21	10	3	18	6	12	10	7	3	5	0	5	1	1	0	86
		(小計)	72	25	31	12	4	25	7	18	17	12	5	10	3	7	11	8	3	135
	小売業	せんい	28	12	10	5	1	13	3	10	12	8	4	4	2	2	9	5	4	66
		食料	36	13	14	5	4	11	2	9	11	8	3	6	2	4	10	4	6	74
		日用品	14	7	4	2	1	6	1	5	3	3	0	1	1	0	2	1	1	26
		電気製品	16	6	4	5	1	5	1	4	4	4	0	3	3	0	4	3	1	32
		その他	91	30	31	27	3	32	4	28	30	18	12	15	8	7	14	8	6	182
		(小計)	185	68	63	44	10	67	11	56	60	41	19	29	16	13	39	21	18	380
		飲食業	79	25	26	21	7	22	8	14	44	34	10	12	6	6	18	12	6	175
	サービス業	美容・理容	50	6	17	24	3	3	0	3	9	8	1	5	4	1	7	6	1	74
		ホテル旅館	4	1	2	1	0	4	1	3	12	1	11	0	0	0	3	1	2	23
		自動車整備	33	7	7	12	7	18	5	13	6	6	0	4	2	2	3	2	1	64
		不動産	66	20	40	4	2	14	5	9	3	3	0	4	0	4	3	3	0	90
		その他	125	37	54	24	10	34	14	20	21	21	0	20	7	13	16	5	11	216
		(小計)	278	71	120	65	22	73	25	48	51	39	12	33	13	20	32	17	15	467
	交通運輸業	17	4	6	4	3	23	5	18	2	2	0	1	1	0	3	3	0	46	
	計	1010 (74.3) (52.9)	264	445	240	61	330 (77.5) (19.2)	108	222	216 (78.1) (12.1)	155	61	122 (75.9) (7.8)	54	68	135 (72.6) (8.0)	82	53	1813 (75.3) (100.0)	
その他・不明	73 (4.8) (61.7)	28	33	10	2	13 (3.5) (15.9)	13	0	11 (3.0) (8.4)	4	7	2 (1.5) (2.8)	1	1	12 (5.6) (11.2)	8	4	111 (4.2) (100.0)		
合計	1399 (100.0) (53.6)	403	594	315	87	433 (100.0) (18.6)	146	287	282 (100.0) (11.7)	191	91	154 (100.0) (7.7)	71	83	190 (100.1) (8.3)	122	68	2458 (100.0) (99.9)		

1. 現状と今後の見通し

a) 現状

全回答企業 2,458 事業所中、「良い・やや良い」が 18.5%、「悪い・やや悪い」が 46.6%で、D I 値は▲28.1（前期▲32.9）となり、4.8 ポイント改善した。

業種別の D I 値では、サービス業はほぼ横ばいする結果となり、製造業、建設業、卸売業、小売業、飲食業、交通運輸業は改善がみられた。一方、その他の業種は前回より悪化し、製造業▲22.9、建設業▲24.4、卸売業▲31.9、小売業▲49.7、飲食業▲17.1、サービス業▲23.5、交通運輸業▲32.6、その他の業種▲29.7 となった。

地区別の D I 値では、前回と比べ、すべての地区で改善が見られ、北勢地区▲26.3、中勢地区▲32.9、南勢地区▲24.2、伊賀地区▲26.6、東紀州地区▲36.9 となった。

図-1 現状について（業種別）

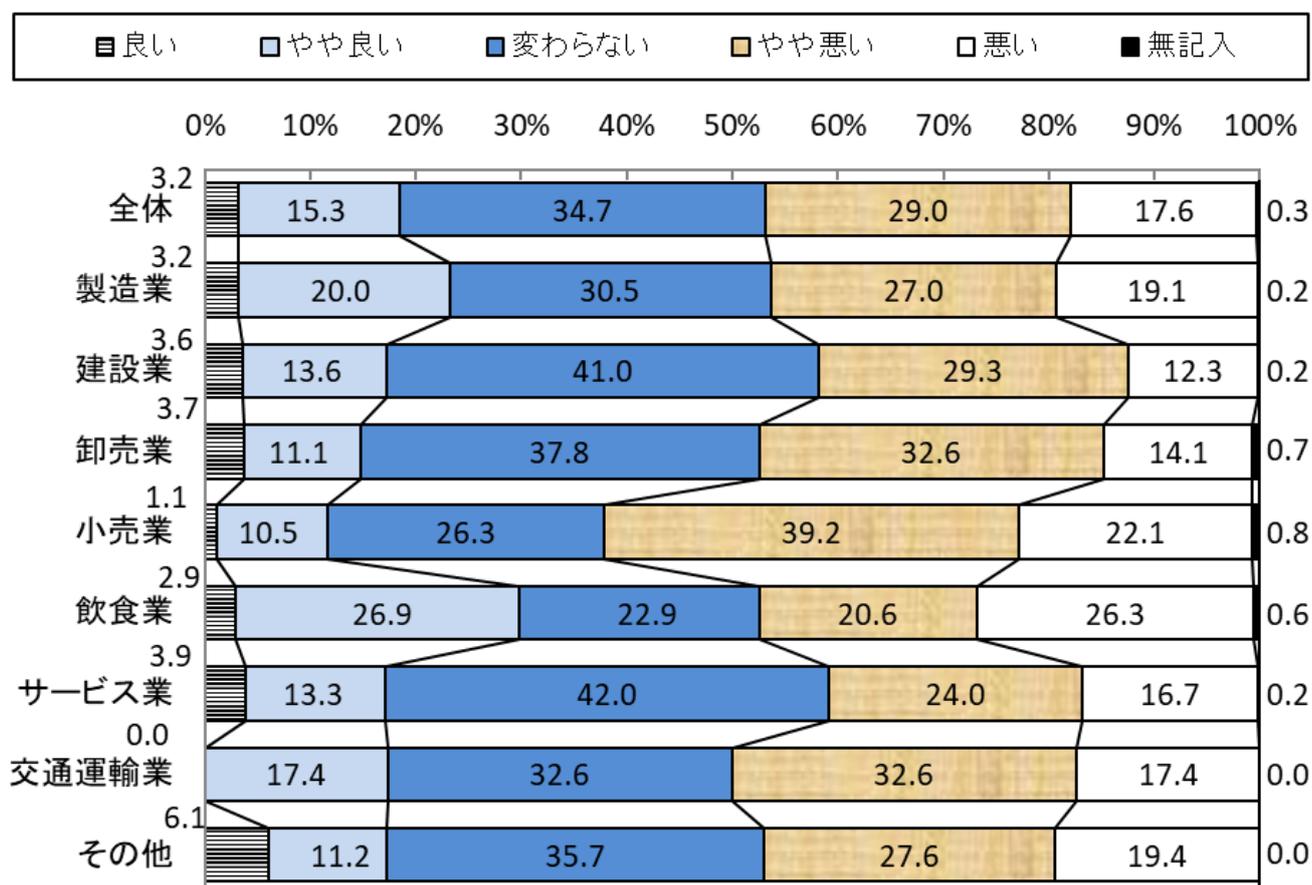
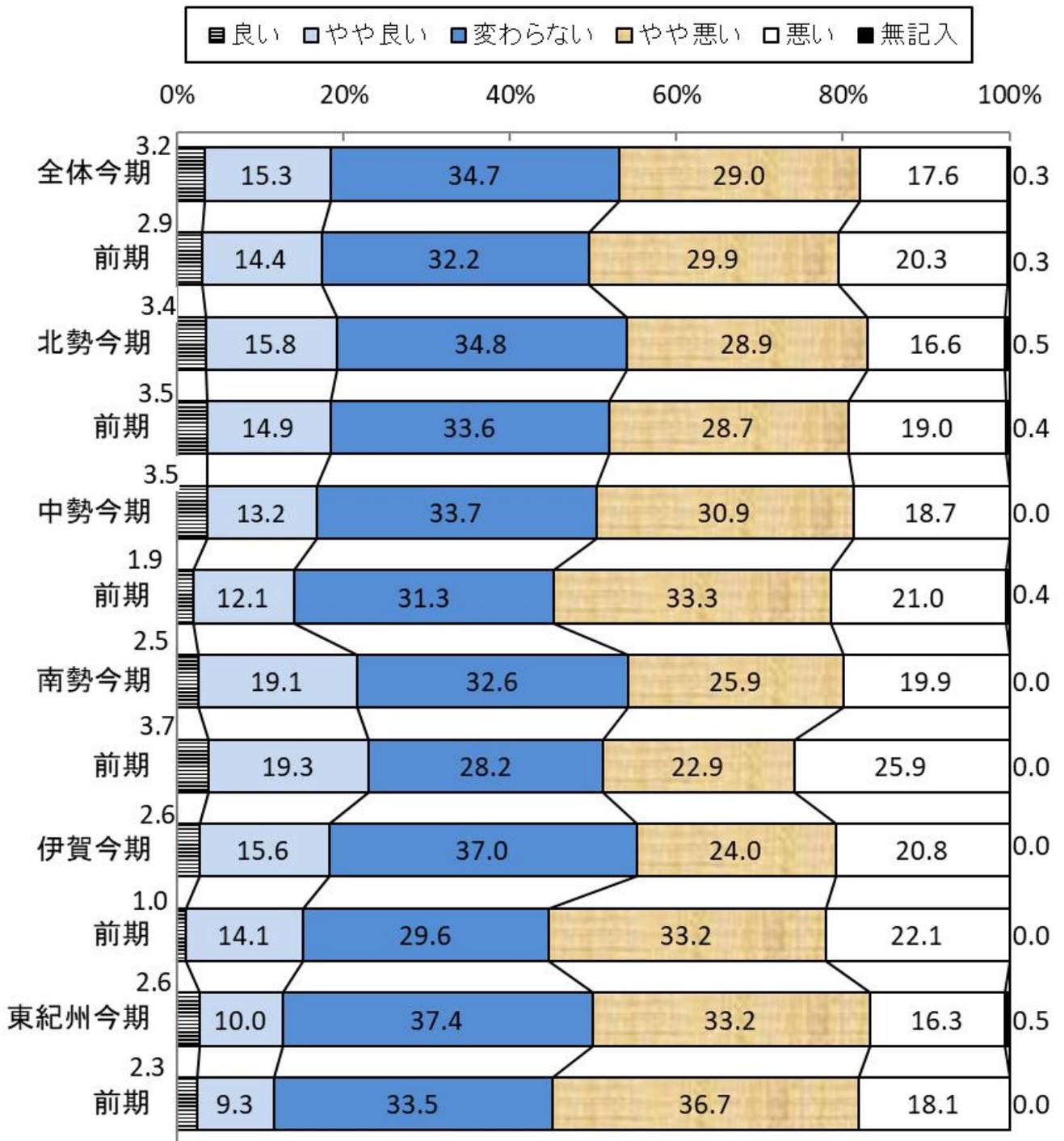
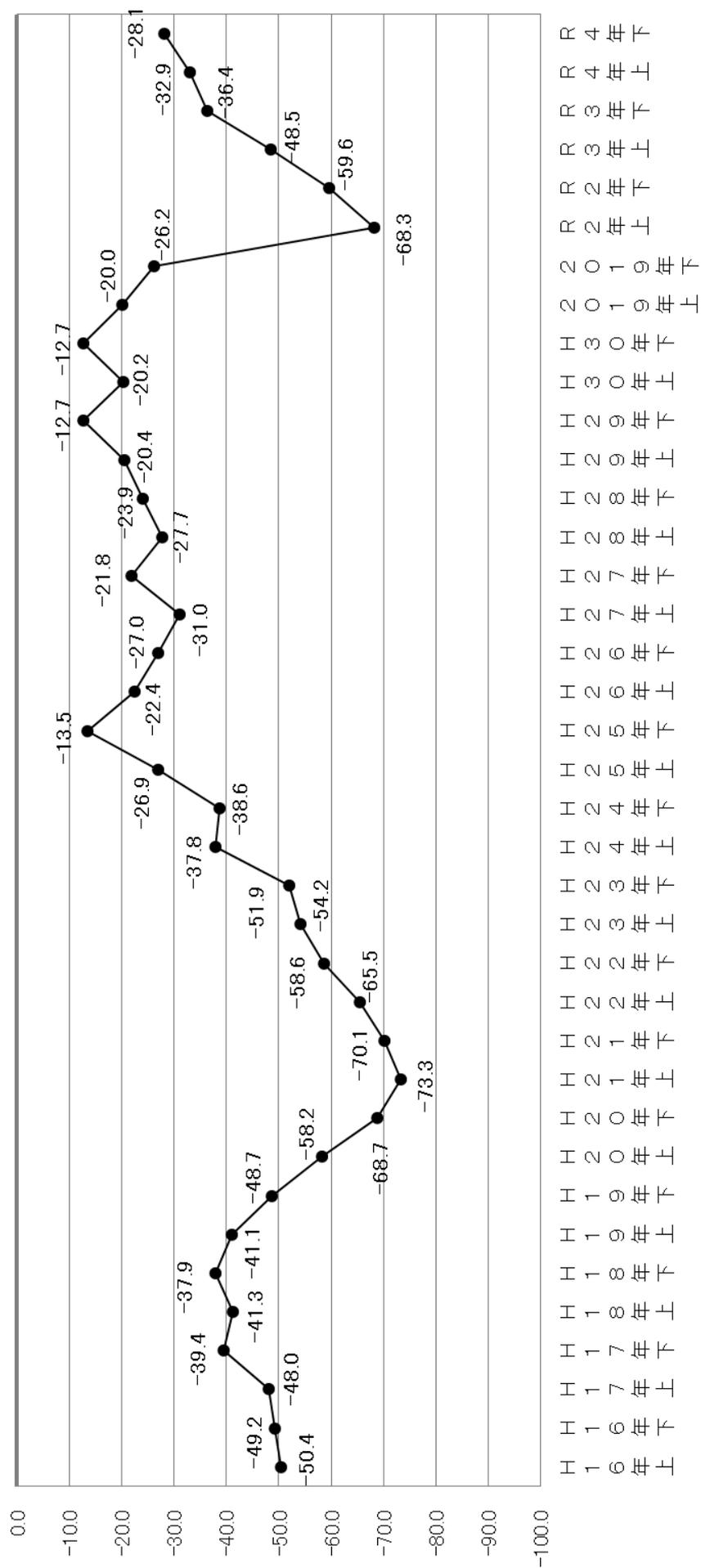


図-2 現状について（全体・地区別）



図一3 現況DI値の推移



(注) H17下期分までの値はBSI値を2倍した数値で表示

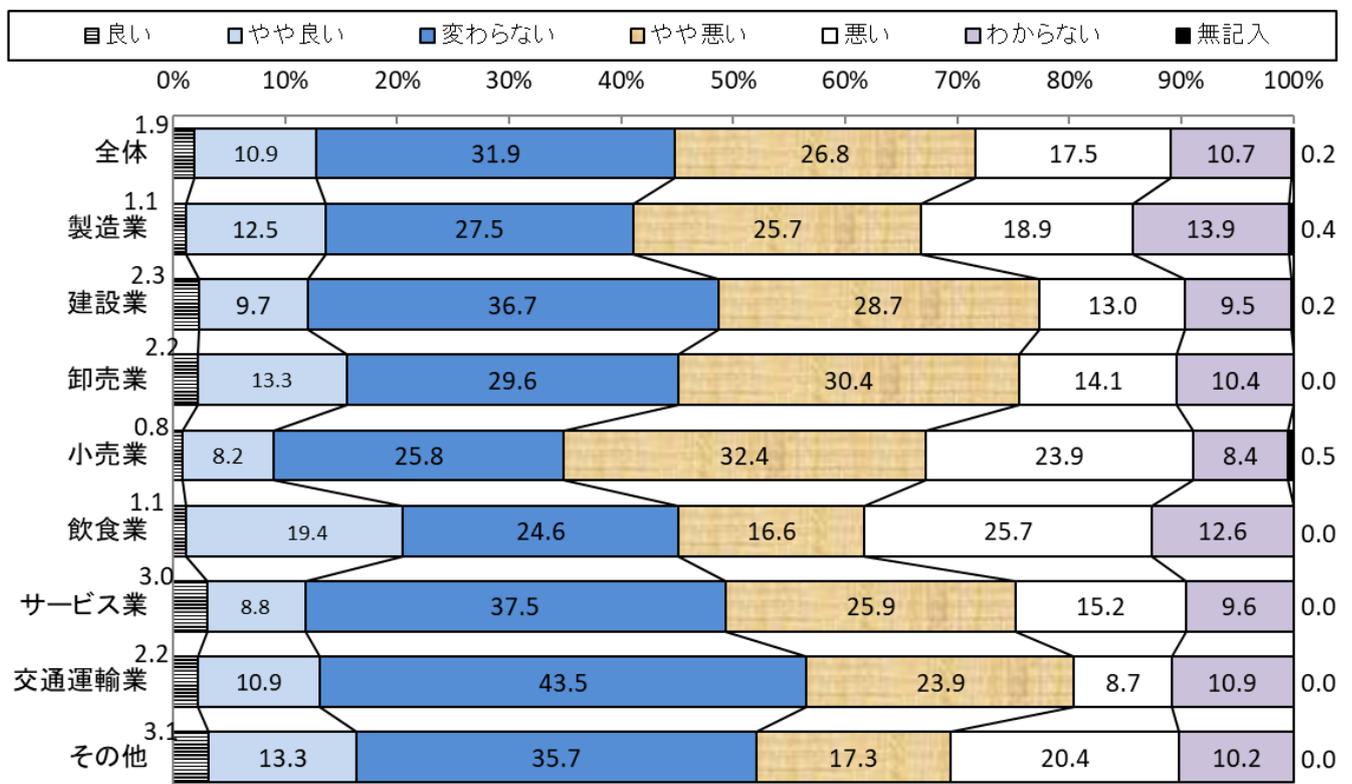
b) 見通し

全体の見通しでは、「良い・やや良い」が12.8%、「悪い・やや悪い」は44.3%で、D I値は▲31.5（現状D I値▲28.1）となり、3.4ポイント悪化の見通しとなった。

業種別のD I値では、現状と比べ卸売業、小売業、交通運輸業、その他の業種でマイナス幅が縮小し改善する見通しとなり、製造業、建設業、飲食業、サービス業でマイナス幅が拡大し悪化が見られ、製造業▲31.0、建設業▲29.7、卸売業▲29.0、小売業▲47.3、飲食業▲21.8、サービス業▲29.3、交通運輸業▲19.5、その他の業種▲21.3となった。

地区別のD I値では、現状と比べ南勢地区でほぼ横ばいの見通しとなり、それ以外の地区はマイナス幅が拡大し悪化する見通しとなり、北勢地区▲30.4、中勢地区▲36.5、南勢地区▲23.5、伊賀地区▲28.6、東紀州地区▲42.6となった。

図-4 今後の見通しについて（業種別）

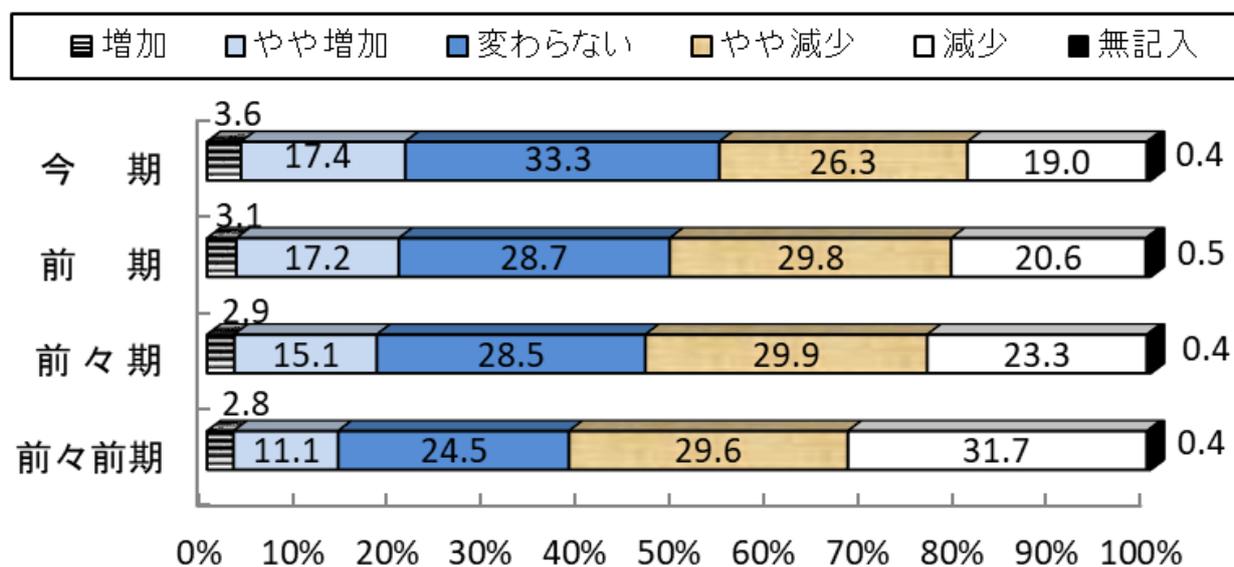


2. 最近の売上状況

全体では、「増加・やや増加」が 21.0%（前期 20.3%）、「やや減少・減少」が 45.3%（前期 50.4%）で、D I 値は▲24.3（前期▲30.1）となり、5.8 ポイント改善した。

業種別の D I 値では、サービス業はほぼ横ばいとなり、製造業、建設業、卸売業、飲食業、交通運輸業はマイナス幅が縮小し改善したが、小売業、その他の業種は悪化し、製造業▲14.7、建設業▲24.9、卸売業▲18.5、小売業▲46.0、飲食業▲11.5、サービス業▲23.6、交通運輸業▲17.3、その他の業種▲25.5 となった。地区別の D I 値では、前回と比べ悪化した南勢地区を除くすべての地区でマイナス幅が縮小し改善となり、北勢地区▲21.9、中勢地区▲28.4、南勢地区▲21.7、伊賀地区▲26.1、東紀州地区▲35.2 となった。

図-5 売上状況



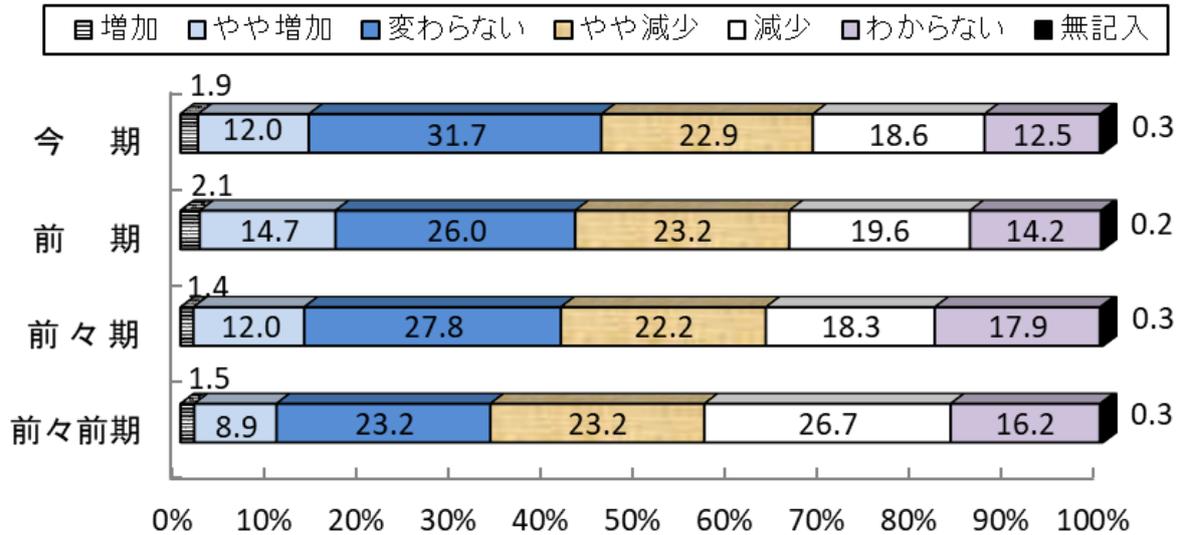
3. 今後の売上見通し

全体では、「増加・やや増加」が 13.9%（前期 16.8%）、「やや減少・減少」が 41.5%（前期 42.8%）で、D I 値は▲27.6（現状 D I 値▲24.3）となり、3.3 ポイント悪化する見通しとなった。

業種別の D I 値では、現状と比べ小売業、その他の業種でマイナス幅が縮小し改善する見通しとなり、製造業、建設業、卸売業、飲食業、サービス業、交通運輸業でマイナス幅が拡大し悪化が見られ、製造業▲24.3、建設業▲30.1、卸売業▲22.2、小売業▲41.5、飲食業▲14.9、サービス業▲25.9、交通運輸業▲19.5、その他の業種▲16.3 となった。

地区別の D I 値では、現状と比べ南勢地区、伊賀地区はほぼ横ばいとなり、北勢地区、中勢地区、東紀州地区でマイナス幅が拡大し悪化が見られ、北勢地区▲26.9、中勢地区▲30.4、南勢地区▲21.6、伊賀地区▲26.6、東紀州地区▲36.4 となった。

図-6 売上見通し



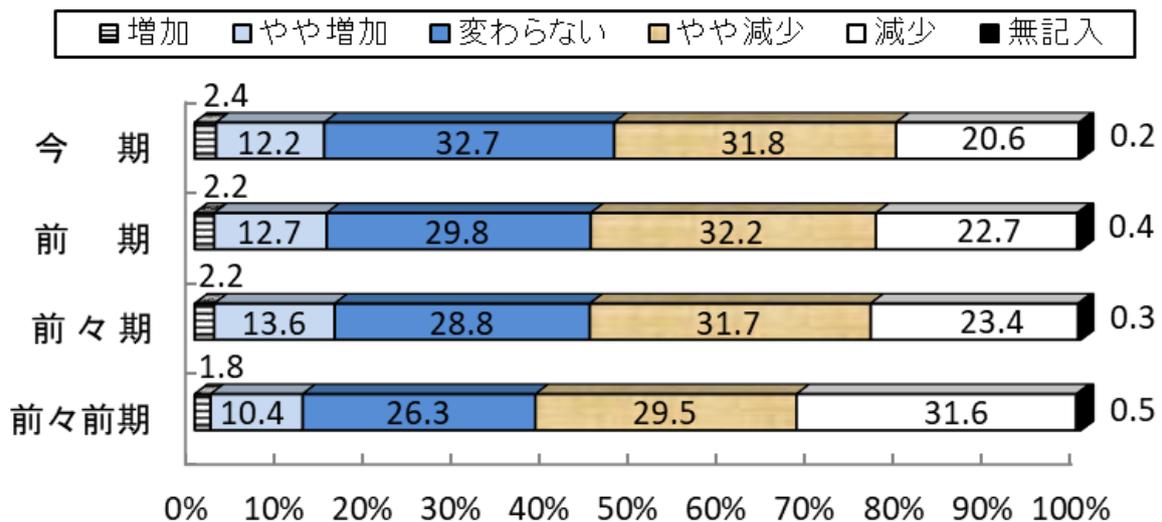
4. 利益状況

全体では、「増加・やや増加」が 14.6%（前期 14.9%）、「やや減少・減少」が 52.4%（前期 54.9%）で、D I 値は▲37.8（前期▲40.0）となり、2.2 ポイント改善した。

業種別の D I 値では、前回と比べ建設業、サービス業がほぼ横ばいとなり、製造業、卸売業、小売業、交通運輸業、その他の業種で改善したが、飲食業でマイナス幅が拡大し悪化が見られ、製造業▲34.9、建設業▲38.4、卸売業▲34.8、小売業▲50.5、飲食業▲42.9、サービス業▲30.6、交通運輸業▲32.6、その他の業種▲31.7 となった。

地区別の D I 値では、前回と比べ悪化した南勢地区を除くすべての地区でマイナス幅が縮小し改善となり、北勢地区▲35.3、中勢地区▲40.4、南勢地区▲36.3、伊賀地区▲43.5、東紀州地区▲47.9 となった。

図-7 利益状況



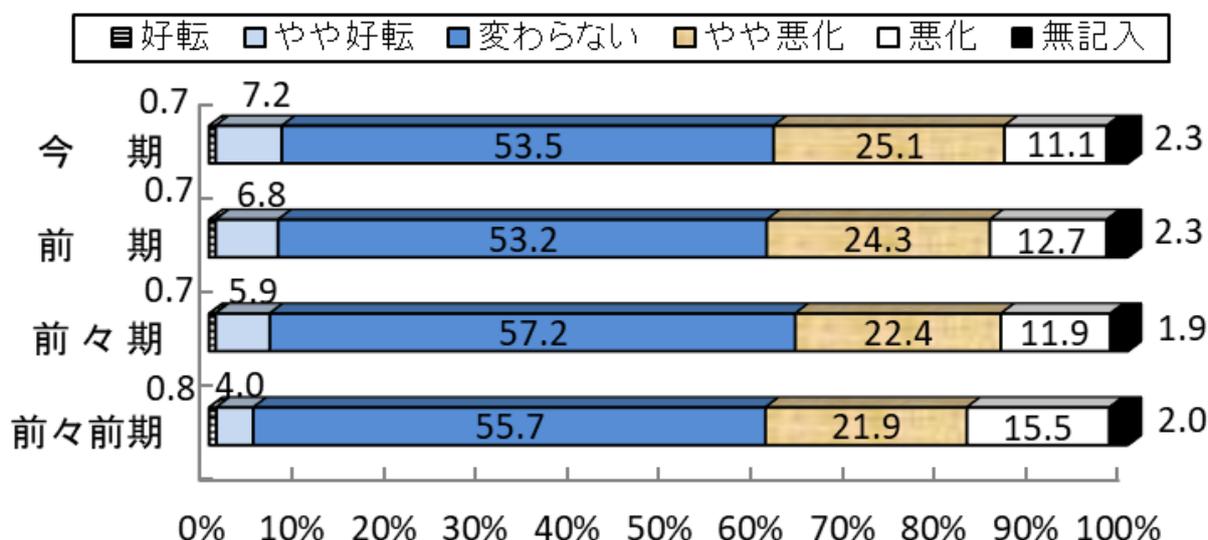
5. 販売条件

全体では、「好転・やや好転」が7.9%（前期7.5%）、「やや悪化・悪化」が36.2%（前期37.0%）で、D I値は▲28.3（前期▲29.5）となり、1.2ポイント改善した。

業種別のD I値では、前回と比べ製造業、建設業、卸売業、交通運輸業、その他の業種でマイナス幅が縮小し改善となり、小売業、飲食業、サービス業でマイナス幅が拡大し悪化となり、製造業▲19.6、建設業▲29.5、卸売業▲30.4、小売業▲43.1、飲食業▲33.8、サービス業▲26.0、交通運輸業▲19.5、その他の業種▲15.4となった。

地区別のD I値では、中勢地区はほぼ横ばいとなり、北勢地区、東紀州地区でマイナス幅が縮小し改善となり、南勢地区、伊賀地区でマイナス幅が拡大し悪化となり、北勢地区▲27.0、中勢地区▲30.3、南勢地区▲32.2、伊賀地区▲28.6、東紀州地区▲28.9となった。

図-8 販売条件



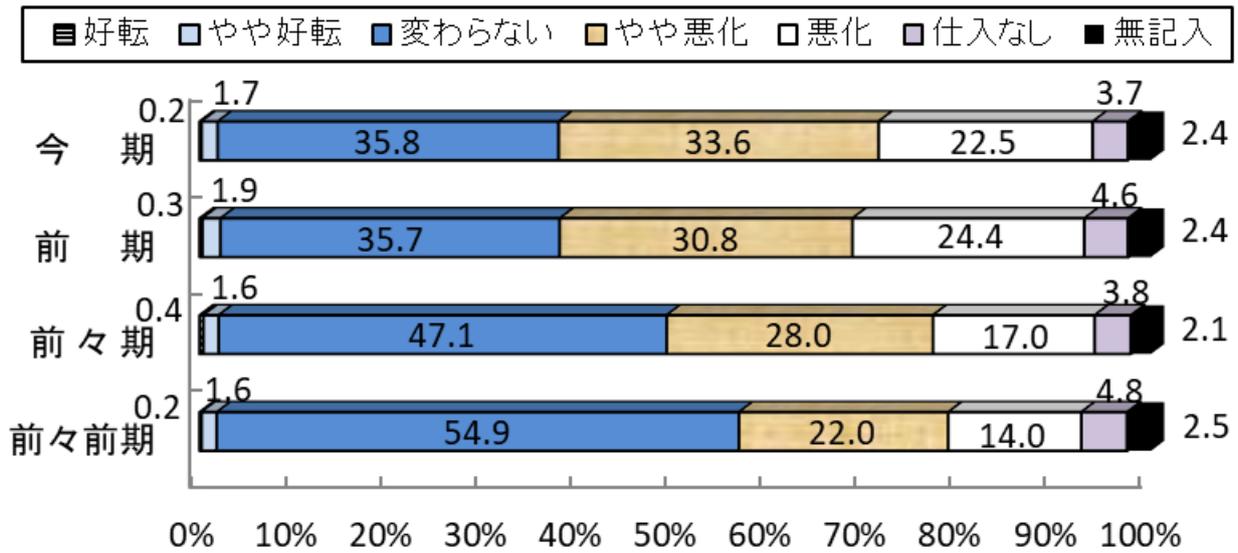
6. 仕入条件

全体では、「好転・やや好転」が1.9%（前期2.2%）、「やや悪化・悪化」が56.1%（前期55.2%）で、D I値は▲54.2（前期▲53.0）となり、1.2ポイント悪化となった。

業種別のD I値では、その他の業種はほぼ横ばいとなり、製造業、建設業、卸売業、交通運輸業でマイナス幅が縮小し改善、小売業、飲食業、サービス業でマイナス幅が拡大し悪化が見られ、製造業▲59.6、建設業▲54.4、卸売業▲48.1、小売業▲59.5、飲食業▲78.2、サービス業▲40.9、交通運輸業▲47.8、その他の業種▲31.7となった。

地区別のD I値では、前回と比べ中勢地区はほぼ横ばいとなり、北勢地区でマイナス幅が縮小し改善となり、南勢地区、伊賀地区、東紀州地区でマイナス幅が拡大し悪化が見られ、北勢地区▲52.4、中勢地区▲54.6、南勢地区▲59.3、伊賀地区▲58.5、東紀州地区▲54.7となった。

図-9 仕入条件



7. 設備投資

全体では、設備投資を行った企業は 396 社、16.1%（前期 389 社、15.1%）、設備投資を予定している企業は 339 社、13.8%（前期 365 社、14.2%）であった。

業種別では、飲食業が 20.6%、サービス業が 21.2%と、他の業種よりも設備投資を行った割合が高いという結果となった。設備投資の予定については、その他の業種が 22.4%と最も高い割合であった。

地区別では、設備投資を行った企業は南勢地区が実績 20.2%と最も高く、設備投資を予定している企業については北勢地区が 15.8%と最も高い割合であった。

図-10 設備投資の実績

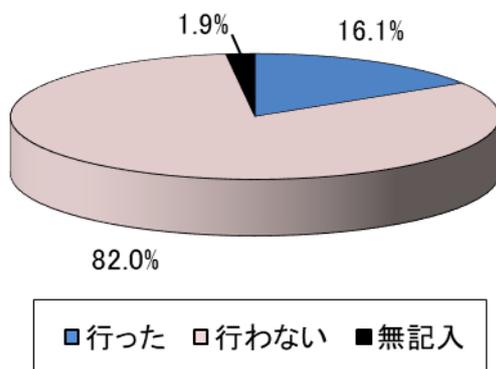
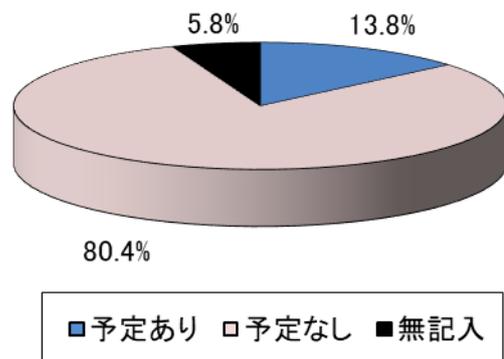


図-11 設備投資の予定



8. 資金繰り状況と今後の見通し

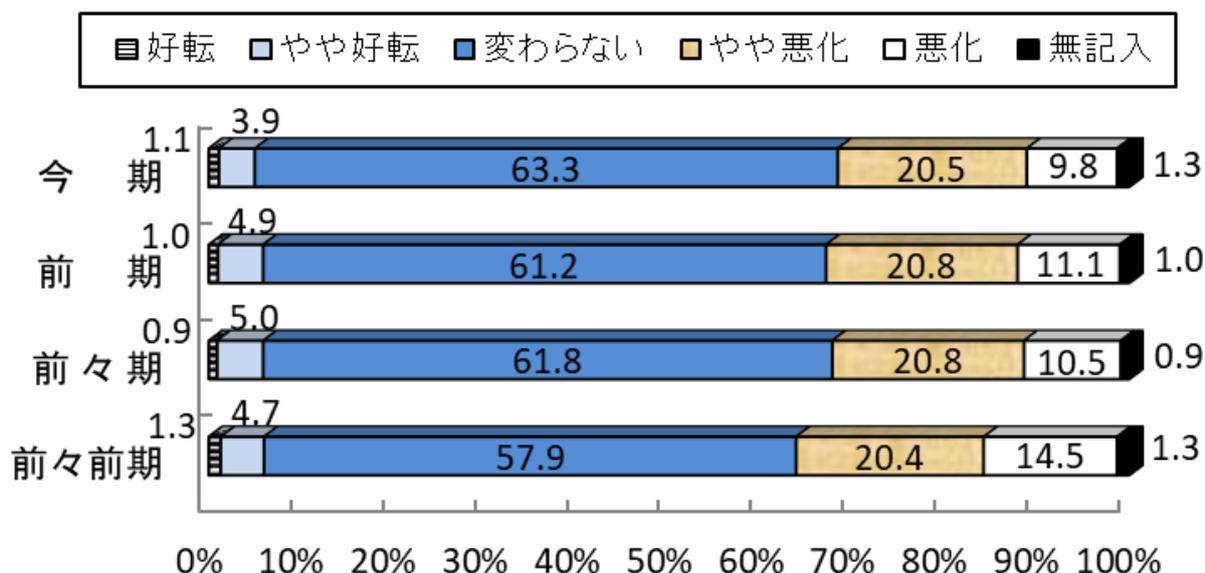
a) 現状

全体では「好転・やや好転」が5.0%（前期5.9%）、「悪化・やや悪化」は30.3%（前期31.9%）で、D I値は▲25.3（前期▲26.0）となり、ほぼ横ばいする結果となった。

業種別D I値では、前回と比べその他の業種でほぼ横ばいとなり、製造業、建設業、卸売業、小売業でマイナス幅が縮小し改善が見られ、飲食業、サービス業、交通運輸業でマイナス幅が拡大し悪化が見られ、製造業▲26.5、建設業▲20.0、卸売業▲18.6、小売業▲31.6、飲食業▲39.4、サービス業▲22.8、交通運輸業▲30.4、その他の業種▲22.4となった。

地区別D I値では、前回と比べ中勢地区でほぼ横ばい、北勢地区、伊賀地区でマイナス幅が縮小し改善が見られ、南勢地区、東紀州地区でマイナス幅が拡大し悪化が見られ、北勢地区▲23.1、中勢地区▲24.7、南勢地区▲32.0、伊賀地区▲26.7、東紀州地区▲32.6となった。

図-12 資金繰りの現状



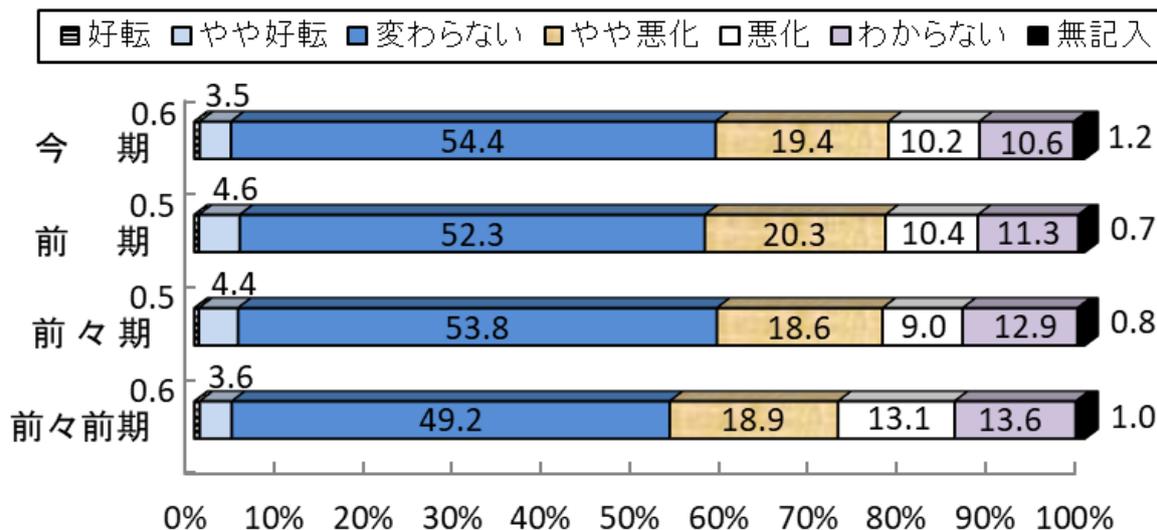
b) 見通し

全体では「好転・やや好転」が4.1%（前期5.1%）、「悪化・やや悪化」は29.6%（前期30.7%）でD I値は▲25.5（現状D I値▲25.3）となり、ほぼ横ばいする見通しとなった。

業種別D I値では、現状と比べ製造業、卸売業、サービス業でほぼ横ばいとなり、飲食業、交通運輸業、その他の業種でマイナス幅が縮小し改善が見られ、建設業、小売業でマイナス幅が拡大し悪化が見られ、製造業▲25.8、建設業▲22.0、卸売業▲19.3、小売業▲33.7、飲食業▲37.2、サービス業▲22.0、交通運輸業▲28.3、その他の業種▲16.3となった。

地区別のD I値では、現状と比べ中勢地区でほぼ横ばいとなり、南勢地区、伊賀地区、東紀州地区でマイナス幅が縮小し改善が見られ、北勢地区でマイナス幅が拡大し悪化が見られ、北勢地区▲24.7、中勢地区▲24.5、南勢地区▲29.5、伊賀地区▲22.7、東紀州地区▲29.0となった。

図-13 資金繰りの見通し



9. 借入状況

a) 現状

回答企業 2,458 社のうち、借入を実施した企業は、996 社、40.5%（前期 1,007 社、39.1%）であった。

b) 借入の難易度

全体では、借入を実施した企業のうち、「容易」が 12.3%（前期 13.0%）、「困難」は 12.7%（前期 14.0%）で、D I 値は▲0.4（前期▲1.0）となり、ほぼ横ばいする結果となった。

業種別 D I 値では、建設業でほぼ横ばいとなり、製造業、卸売業でマイナス幅が縮小し改善が見られ、小売業、飲食業、サービス業、交通運輸業、その他の業種でマイナス幅が拡大し悪化が見られ、製造業 4.4、建設業 5.9、卸売業▲1.6、小売業▲8.7、飲食業▲18.0、サービス業▲3.6、交通運輸業▲4.7、その他の業種▲7.9 となった。

図-14 借入の難易度

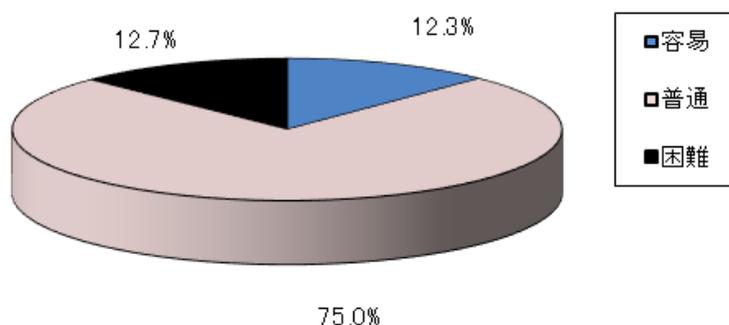
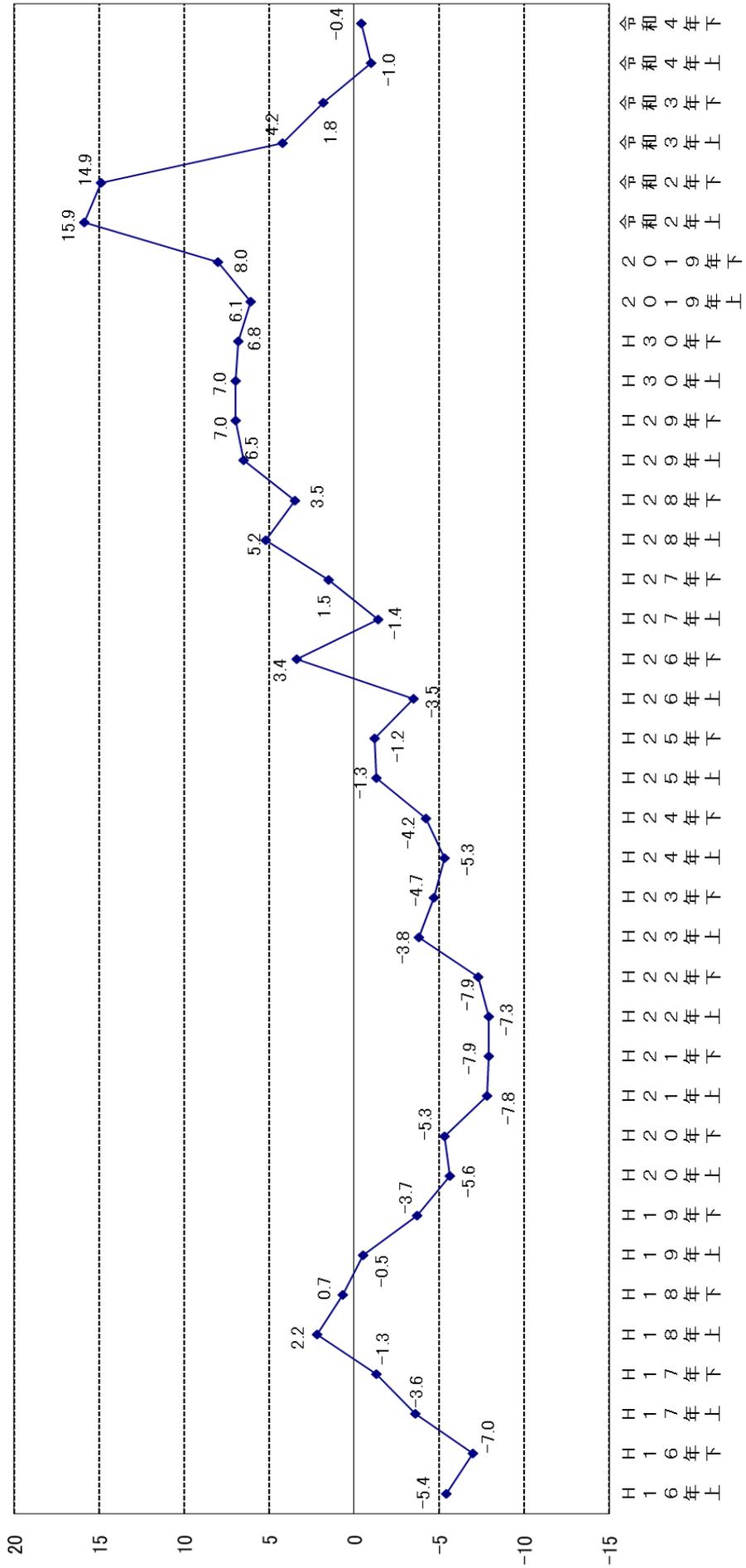


図-15 借入難易度DI値の推移



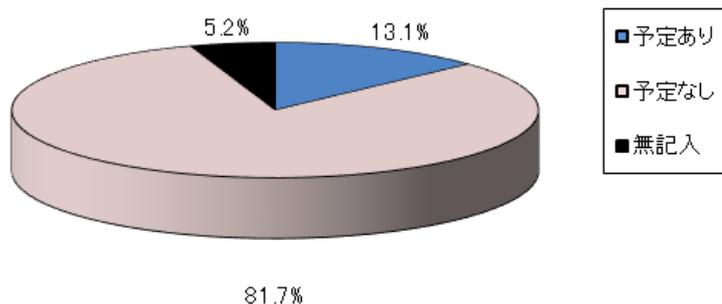
10. 借入予定

全体では、回答企業 2,458 社のうち、借入を予定している企業は 323 社、13.1%（前期 327 社 12.7%）であった。

業種別で見ると、借入を予定しているのはその他の業種が 18.4%と最も高く、飲食業が 9.1%と最も低かった。

地区別では、北勢地区が 14.4%と最も高く、中勢地区 12.5%、南勢地区 11.0%、伊賀地区 9.1%、東紀州地区 11.6%となった。

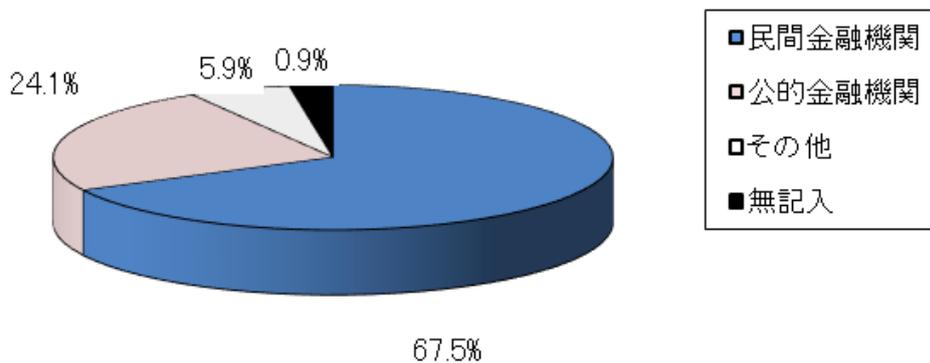
図-16 借入予定



11. 借入希望先

借入を予定している企業のうち、「民間金融機関」が 67.5%（前期 63.9%）、「公的金融機関」は 24.1%（前期 30.0%）となった。

図-17 借入希望先

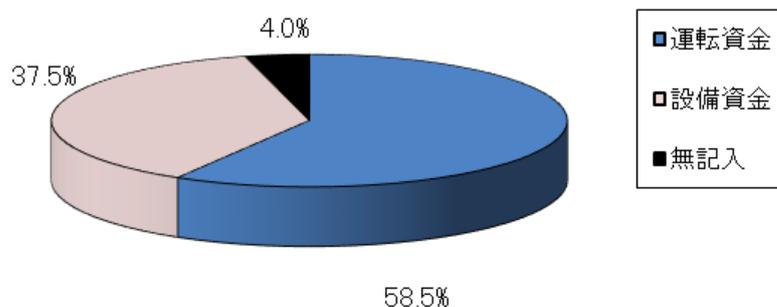


12. 借入金の使途予定

全体では、借入を予定している企業のうち、「運転資金」が58.5%（前期64.5%）に対し、「設備資金」は37.5%（前期32.1%）であった。

業種別では「運転資金」で小売業が81.0%、「設備資金」でサービス業が59.1%と、それぞれ最も高かった。

図-18 借入金の使途予定



13. 経営上の問題点

全体では、「売上・受注の停滞減少」が最も多く43.9%（前期48.7%）、次いで「原材料高及び不足」が39.4%（前期43.8%）、「人手不足」が26.8%（前期23.7%）となった。「売上・受注の停滞減少」は前回に引き続き、第1位となった。

業種別では、卸売業、小売業、サービス業で「売上・受注の停滞減少」が最も多く、製造業、飲食業、その他の業種で「原材料高及び不足」、建設業で「人手不足」、交通運輸業で「人件費以外の経費増加」が最も多かった。

表-1 経営上の問題点(3項目以内複数回答)

区 分		第 1 位	第 2 位	第 3 位
業 種 別	製 造 業	原材料高及び不足 (51.7)	売上・受注の停滞減少 (48.3)	人手不足 (23.6)
	建 設 業	人手不足 (47.9)	原材料高及び不足 (42.8)	売上・受注の停滞減少 (36.1)
	卸 売 業	売上・受注の停滞減少 (54.1)	原材料高及び不足 (43.7)	人件費以外の経費増加 (20.7)
	小 売 業	売上・受注の停滞減少 (60.3)	原材料高及び不足 (28.4)	設備店舗の狭小老朽化 競争激化 (18.4)
	飲 食 業	原材料高及び不足 (65.1)	売上・受注の停滞減少 (42.3)	人手不足 (25.1)
	サービス業	売上・受注の停滞減少 (36.8)	原材料高及び不足 (21.6)	設備店舗の狭小老朽化 (20.3)
	交通運輸業	人件費以外の経費増加 (50.0)	人手不足 (45.7)	売上・受注の停滞減少 (37.0)
	そ の 他	原材料高及び不足 (33.7)	人手不足 (29.6)	売上・受注の停滞減少 (28.6)
地 区 別	北 勢	売上・受注の停滞減少 (42.0)	原材料高及び不足 (39.3)	人手不足 (27.6)
	中 勢	売上・受注の停滞減少 (48.7)	原材料高及び不足 (37.6)	人手不足 (30.9)
	南 勢	売上・受注の停滞減少 原材料高及び不足 (43.6)	人手不足 (29.8)	設備店舗の狭小老朽化 (19.5)
	伊 賀	売上・受注の停滞減少 (42.9)	原材料高及び不足 (33.1)	人件費以外の経費増加 (26.6)
	東 紀 州	売上・受注の停滞減少 (47.9)	原材料高及び不足 (43.2)	設備店舗の狭小老朽化 (22.1)
総 合		売上・受注の停滞減少 (43.9)	原材料高及び不足 (39.4)	人手不足 (26.8)

(単位：%)

県内商工会議所地区の景況

桑名商工会議所地区（調査対象 1,515 事業所 回答状況 403 事業所）

現 状

令和4年7～12月の業況は、「良い・やや良い」が21.3%（前期20.4%）、「やや悪い・悪い」が44.2%（前期47.9%）となった。D I値は▲22.9（前期▲27.5）となり、前期調査時に比べ4.6ポイント改善する結果となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が▲15.3（前期▲30.8）・建設業が▲19.8（前期▲23.4）・卸売業が▲44.0（前期▲47.5）・小売業が▲36.7（前期▲36.2）・飲食業が0.0（前期▲29.5）・サービス業が▲19.8（前期▲23.3）・交通運輸業が▲50.0（前期▲28.6）・その他の業種が▲26.4（前期▲4.4）となった。

業種別では前期D I値と比較して製造業、建築業、卸売業、飲食業、サービス業で改善が見られ、小売業がほぼ横ばい、交通運輸業、その他業種については悪化となった。

飲食業は29.5ポイントの大幅な改善が見られたが、交通運輸業では21.4ポイントの悪化が見られた。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が10.9%、「やや悪い・悪い」との回答は44.1%で、D I値は▲33.2となった。

現状のD I値（▲22.9%）と比較すると、10.3ポイントと業況悪化を見通している。

業種別のD I値を見ると製造業が▲34.2・建設業が▲33.8・卸売業が▲32.0・小売業が▲54.4・飲食業が▲8.0・サービス業が▲22.5・交通運輸業が0.0・その他の業種が▲21.1となった。

業種別に現状のD I値と比較すると、卸売業が12ポイント、交通運輸業が50ポイント改善する見通しである。一方で製造業が18.9ポイント、建設業が14.0ポイント、小売業が17.7ポイント、飲食業が8ポイント、サービス業が2.7ポイント、その他の業種が5.3ポイント悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く、43.7%（前期46.1%）、「原材料高及び不足」が39.2%（前期42.4%）、「人手不足」が23.8%（前期21.2%）と上位を占めた。

業種別では、製造業、卸売業、小売業、サービス業で「売上・受注の停滞減少」が最も多い結果となった。また、建設業では「人手不足」、飲食業では「原材料高及び不足」が最も多い結果となった。

「原材料高及び不足」は全業種の上位に入っており、円安の長期化、資源価格の高騰によりコストの増加などの影響が窺える。また、「人件費の増加」が10.9%（前期7.7%）と前回より増加しており、人手不足や最低賃金の引き上げなどの影響から上昇傾向にあることが窺える。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は87社21.6%（前期16.6%）であった。前期と比較して5.0ポイント増加した。

業種別では、製造業が17.1%（前期13.6%）、建設業が14.1%（前期11.0%）、卸売業が8.0%（前期0.0%）、小売業が25.0%（前期6.4%）、飲食業が36.0%（前期35.3%）、サービス業が29.6%（前期24.7%）、交通運輸業が25.0%（前期42.9%）、その他の業種が36.8%（前期34.8%）となった。

前期と比較し、小売店が 18.6 ポイントと最も増加幅が大きく、交通運輸業が▲17.9 ポイントと最も減少幅が大きい結果となった。

四日市商工会議所地区（調査対象事業所事業所 2,295 事業所 回答状況 594 事業所） 現 状

令和 4 年 7～12 月の業況は、「良い・やや良い」が 18.5%（前期 20.4%）、「やや悪い・悪い」が 44.8%（前期 45.6%）となった。D I 値は▲26.3（前期▲25.2）となり、前期調査時に比べ 1.1 ポイント悪化する結果となった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が▲21.6（前期▲22.8）、建設業が▲23.6（前期▲24.4）、卸売業が▲19.3（前期▲35.1）、小売業が▲52.4（前期▲52.7）、飲食業が▲27.0（前期▲2.9）、サービス業が▲27.6（前期▲15.8）、その他の業種が▲12.1（前期▲25.0）となった。

業種別では前期 D I 値と比較して製造業、卸売業、その他の業種で改善し、建設業、小売業はほぼ横ばいで推移した。一方で、飲食業、サービス業で悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 17.6%、「やや悪い・悪い」との回答は 42.2%、D I 値は▲24.6 となった。現状の D I 値（▲26.3）と比較すると 1.7 ポイント業況の改善を見通している。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲25.0、建設業が▲25.2、卸売業が▲16.1、小売業が▲41.2、飲食業が▲34.6、サービス業が▲17.4、その他の業種が▲15.1 となった。

業種別に現状の D I 値と比較すると卸売業が 3.2 ポイント、小売業が 11.2 ポイント、サービス業が 10.2 ポイントと改善を見通す。一方で、製造業が 3.4 ポイント、建設業が 1.6 ポイント、飲食業が 7.6 ポイント、その他の業種が 3.0 ポイント悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について、「原材料高及び不足」が最も多く 58.6%（前期 42.6%）、次いで「売上受注の停滞減少」が 47.4%（前期 43.6%）、「人件費以外の経費増加」が 25.0%（前期 42.6%）と上位を占めた。

課題別では、「原材料高及び不足」については小売業で 57.7%（前期 28.4%）と 29.3 ポイント増加し全業種の中で最も悪化した。また、「人件費以外の経費増加」についてはサービス業で 50.0%（前期 15.7%）34.3 ポイント増加し全業種の中で最も悪化した。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は 80 社 13.5%（前期 15.9%）であった。前期と比較して 2.4 ポイント減少した。

業種別では、製造業が 12.9%（前期 21.1%）、建設業が 15.1%（前期 17.1%）、卸売業が 0.0%（前期 2.7%）、小売業が 11.1%（前期 6.8%）、飲食業が 11.5%（前期 2.9%）、サービス業が 17.5%（前期 21.6%）、その他の業種では 9.1%（前期 20.0%）となった。

前期と比較し、小売業が4.3ポイント、飲食業が8.6ポイント増加した一方で、製造業が8.2ポイント、建設業が2.0ポイント、卸売業が2.7ポイント、サービス業が4.1ポイント、その他の業種が10.9ポイント減少した。

鈴鹿商工会議所地区（調査対象1,100事業所 回答状況315事業所）

現 状

令和4年7～12月の業況は、「良い・やや良い」が17.2%（前期13.3%）、「やや悪い・悪い」が50.5%（前期50.8%）となった。D I値は▲33.3（前期▲37.5）となり、前期調査時に比べ4.2ポイント改善する結果となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が▲24.6（前期▲49.9）・建設業が▲23.4（前期▲29.9）・卸売業が▲33.3（前期▲16.7）・小売業が▲50.0（前期▲50.0）・飲食業が▲42.8（前期▲46.5）・サービス業が▲40.0（前期▲20.3）となった。

業種別では前期D I値と比較して、小売業は変化なし、製造業は25.3ポイント、建設業は6.5ポイント、飲食業は3.7ポイントの改善が見られた一方で、卸売業は16.6ポイント、サービス業は19.7ポイントの悪化を示した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が8.9%、「やや悪い・悪い」との回答は49.8%、D I値は▲40.9となった。現状のD I値（▲33.3）と比較すると、7.6ポイント業況の悪化を見通している。

業種別のD I値を見ると製造業が▲30.7・建設業が▲38.3・卸売業が▲33.3・小売業が▲54.6・飲食業が▲28.6・サービス業が▲52.4となった。

業種別に現状のD I値と比較すると、飲食業が14.2ポイント改善を見通すほか、卸売業が0ポイントと現在の水準で推移する見通しである。一方で、建設業が-14.9ポイント、製造業が-6.1ポイント、小売業が-4.6ポイント、サービス業が-12.4ポイントの悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について、「売上・受注の停滞減少」が最も多く46.0%（前期46.5%）、「原材料高及び不足」が40.3%（前期44.3%）、「人材不足」が26.3%（前期22.8%）と上位を占めた。

業種別では、卸売業、小売業、飲食業、サービス業で「売上・受注の停滞減少」が最も多かった。建設業は、「原材料高及び不足」前期1位47.4%が今期2位42.6%へ、「人手不足」前期2位45.4%が今期1位43.6%へ変動した。前回の調査に引き続き「人手不足」「原材料高及び不足」の課題が表面化していることが窺える。

【設備投資】

設備投資について、設備投資を実施した企業は49社15.6%（前期16.3%）であった。前期と比較し0.7ポイント減少した。業種別では、製造業が16.9%（前期4.7%）、建設業が16.0%（前期20.6%）、卸売業が0.0%（前期0.0%）、小売業が6.8%（前期20.8%）、飲食業が14.3%（前期17.9%）、サービス

業が 23.1%（前期 11.9%）となった。前期と比較すると、製造業で設備投資の増加が見られ、12.2 ポイントと最も増加幅が大きい結果となった。一方、小売業は 14.0 ポイントと最も減少幅が大きかった。

亀山商工会議所地区（調査対象 487 事業所 回答状況 87 事業所）

現 状

令和 4 年 7～12 月の業況は、「良い・やや良い」が 20.6%（前期 15.5%）、「やや悪い・悪い」が 39.0%（前期 48.8%）となった。D I 値は▲18.4（前期▲33.3）となり、前期調査時に比べ 14.9 ポイント改善する結果となった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が▲37.4（前期▲65.3）・建設業が▲13.4（前期▲5.9）・卸売業が▲50.0（前期▲50.0）・小売業が▲20.0（前期▲45.5）・飲食業が 14.3（前期 14.3）・サービス業が▲4.5（前期▲12.5）・交通運輸業が▲100.0（前期▲66.7）・その他の業種が▲100.0（前期 0.0）となった。

業種別では前期 D I 値と比較して、製造業・小売業・サービス業についてはマイナス幅の改善が見られたが、卸売業・飲食業・については横ばいであり、建設業・交通運輸業・その他の業種については悪化という結果となった。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 14.9%、「やや悪い・悪い」との回答は 34.4%、D I 値は▲19.5 となった。

現状の D I 値（▲18.4）と比較すると 1.1 ポイント業況の悪化を見通している。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲37.5・建設業が▲13.3・卸売業が▲50.0・小売業が▲20.0・飲食業が 14.3・サービス業が▲22.8・交通運輸業が 0.0・その他の業種が 100.0 になった。

業種別に現状の D I 値と比較すると、製造業・建設業・卸売業・小売業・飲食業が現在の水準で推移する見通しである。また、サービス業が 18.3 ポイント悪化する見通しとなっている。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く、40.2%（前期 44.0%）、「原材料高及び不足」が 33.3%（前期 53.6%）、「人手不足」が 29.9%（前期 27.4%）と上位を占めた。

また、業種別では、製造業、小売において「売上・受注の停滞減少」が最も多く、建設業、サービス業では「人手不足」が最も多い結果となった。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は 21 社 24.1%（前期 11.9%）であった。前期と比較して 12.2 ポイント増加した。

業種別では、製造業が 20.8%（前期 8.7%）、建設業が 20.0%（前期 11.8%）、卸売業が 25.0%（前期 50.0%）、小売業が 40.0%（前期 9.1%）、飲食業が 42.9%（前期 0.0%）、サービス業が 13.6%（前期 12.5%）、交通運輸業が 66.7%（前期 33.3%）、その他の業種が 0.0%（前期 0.0%）となった。設備投資を実施した業種別では、製造業が 5 社実施しており最も多かった。

津商工会議所地区（調査対象 1633 事業所 回答状況 146 事業所）

現 状

令和4年7～12月の業況は、「良い・やや良い」が24.0%（前期16.3%）、「やや悪い・悪い」が41.8%（前期51.3%）となった。D I値は▲17.8（前期▲35.0）となり、前期調査時に比べ17.2ポイント改善する結果となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が▲36.0（前期▲41.9）・建設業が▲15.4（前期▲22.0）・卸売業が▲28.5（前期▲41.7）・小売業が▲45.5（前期▲75.0）・飲食業が12.5（▲26.4）、サービス業が▲4.0（前期▲32.3）・その他の業種が▲7.7（前期▲18.7）となった。

業種別では前期D I値と比較して、上記の業種すべてで改善がみられた。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が14.4%、「やや悪い・悪い」との回答は44.5%、D I値は▲30.1となった。

現状のD I値（▲17.8）と比較すると、12.3ポイント業況の悪化を見通している。

業種別のD I値を見ると製造業が▲44.0・建設業が▲27.0・卸売業が0.0・小売業が▲63.7・飲食業が12.5・サービス業が▲28.0・その他の業種が▲15.4となった。

業種別に現状のD I値と比較すると、卸売業で改善、飲食業でほぼ横ばいの見通しとなった。一方、製造業、建設業、小売業、サービス業、その他の業種で悪化する見通しとなった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く、45.9%（前期50.3%）、「原材料高及び不足」が36.3%（前期46.6%）、「人手不足」が36.3%（前期27.2%）と上位を占めた。

特に「人手不足」が9.1ポイント上昇しており、慢性的な「人手不足」がより顕著に表れる結果となった。

業種別では、製造業・卸売業・小売業・サービス業が前期に引続き「売上・受注の停滞減少」、飲食業では「原材料高及び不足」、建設業では「人手不足」、その他の業種では「売上・受注の停滞減少」と「人手不足」が最も多くなった。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は23社15.8%（前期15.7%）であった。前期と比較してほぼ横ばいとなった。業種別では、建設業7社（前期11社）が最も多かった。

松阪商工会議所地区（調査対象 1005 事業所 回答状況 287 事業所）

現 状

2022年7～12月の業況は、「良い・やや良い」が12.9%（前期12.5%）、「やや悪い・悪い」が53.7%（前期56.4%）となった。D I値は▲40.8（前期▲43.9）となり、前期調査時に比べ3.1ポイント改善する結果となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が▲43.0（前期▲51.6）・建設業が▲32.3（前期▲38.9）・卸売業が

▲66.7（前期▲47.0）・小売業が▲60.7（前期▲55.1）・飲食業が▲21.5（前期 11.8）・サービス業が▲27.1（前期▲37.6）・交通運輸業が▲27.8（前期▲57.8）となった。

業種別では前期D I 値と比較して、製造業、建設業、サービス業、交通運輸業は改善。一方で、卸売業、小売業、飲食業は悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が9.4%、「やや悪い・悪い」との回答は49.2%、D I 値は▲39.8となった。

現状のD I 値（▲40.8）と比較すると、1.0ポイント業況の改善を見通している。

業種別のD I 値を見ると製造業が▲57.0・建設業が▲23.5・卸売業が▲55.6・小売業が▲46.4・飲食業が▲35.8・サービス業が▲35.4・交通運輸業が▲16.7となった。

業種別に現状のD I 値と比較すると、建設業が8.8ポイント、卸売業が11.1ポイント、小売業が14.3ポイント、交通運輸業が11.1ポイント改善する見通し。一方で、製造業が14.0ポイント、飲食業が14.3ポイント、サービス業が8.3ポイント悪化する見通し。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く50.2%（前期55.0%）、「原材料高及び不足」が38.3%（前期49.5%）、「人手不足」が28.2%（前期22.5%）と上位を占めた。

また、業種別では、製造業、卸売業、小売業、サービス業では「売上・受注の停滞減少」が、建設業では「人手不足」と「原材料高及び不足」が、飲食業では「原材料高及び不足」が、交通運輸業では「人件費以外の経費増加」が最も多い結果となった。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は33社11.5%（前期12.1%）であった。前期と比較して0.6ポイント減少した。

業種別では、製造業が12.3%（前期11.7%）、建設業が16.2%（前期11.9%）、卸売業が11.1%（前期は実施した企業なし）、小売業が8.9%（前期10.1%）、サービス業が10.4%（前期14.6%）、交通運輸業が11.1%（前期21.1%）となった。一方で、飲食業では設備投資を実施した企業はなかった（前期17.6%）。

前期と比較し、サービス業が11.1ポイントと最も増加幅が大きく、飲食業は17.6ポイントと最も減少幅が大きい結果となった。

伊勢商工会議所地区（調査対象 600 事業所 回答状況 191 事業所 ）

現 状

令和4年7～12月の業況は、「良い・やや良い」が19.9%（前期22.8%）、「やや悪い・悪い」が46.5%（前期45.0%）となった。D I 値は▲26.6（前期▲22.2）となり、前期調査時に比べ4.4ポイント悪化の結果となった。

業種別のD I 値を見ると、製造業6.2（前期▲11.7）・建設業が▲33.3（前期▲25.0）・卸売業が▲25.0

(前期▲25.0)・小売業が▲58.5(前期▲40.1)・飲食業が▲14.6(前期▲13.8)・サービス業が▲25.6(前期▲17.7)・交通運輸業が▲0.0(前期▲0.0)・その他の業種が▲50.0(前期▲0.0)となった。

業種別では前期D I値と比較して製造業で改善が見られ、卸売業、飲食業、交通運輸業で横ばい、建設業、小売業、サービス業が悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が14.1%、「やや悪い・悪い」との回答は35.6%、D I値は▲21.5となった。

現状のD I値(19.9)と比較すると、1.6ポイント業況の悪化を見通している。

業種別のD I値を見ると製造業が▲3.2・建設業が▲44.4・卸売業が▲33.4・小売業が▲29.3・飲食業が▲11.8・サービス業が▲23.1・交通運輸業が▲50.0・その他の業種が▲0.0となった。

業種別に現状のD I値と比較すると、小売業が29.2ポイント、飲食業が2.8ポイント・サービス業が2.5ポイント・その他の業種が50.0ポイント改善を見通す一方で、製造業が▲9.4ポイント・建設業が▲11.1ポイント・卸売業が▲8.4ポイント・交通運輸業が▲50.0ポイント悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」最も多く、24.9%(前期52.1%)、「原材料高及び不足」が19.5%(前期43.6%)、「人手不足」が15.4%(前期22.7%)と上位を占めた。

また、業種別では卸売業、小売業、サービス業で「売上・受注の停滞減少」が最も多く、製造業、建設業、飲食業で「原材料高及び不足」が最も多かった。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は36社18.8%(前期13.3%)であった。前期と比較して5.5ポイント増加した。業種別では、業種別では製造業が9.4%(前期11.8%)・建設業が18.5%(前期16.7%)・卸売業が0.0%(前期18.8%)・小売業が14.6%(前期13.3%)・飲食業が26.5%(前期8.3%)・サービス業が33.3%(前期15.7%)・交通運輸業が0.0%(前期0.0%)・その他の業種が0.0%(前期0.0%)となり、サービス業が13社と最も多かった。

鳥羽商工会議所地域(調査対象250事業所 回答状況91事業所)

現 状

令和4年7~12月の業況は、「良い・やや良い」が25.3%(前期23.3%)、「やや悪い・悪い」が44.0%(前期57.7%)となった。D I値は▲18.7(前期▲34.4)となり前期調査時に比べ、15.7ポイント改善する結果となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が▲39.2(前期▲56.5)・建設業が▲20.0(前期▲33.4)・卸売業が40.0(前期▲100.0)・小売業が▲21.0(前期▲42.0)・飲食業が▲10.0(前期10.0)・サービス業が25.0(前期▲22.2)・交通運輸業が0.0(前期0.0)・その他の業種が▲71.4(前期▲33.3)となっている。

業種別では前期D I値と比較して製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業で改善が見られた。

特に建設業、卸売業については、マイナス幅の縮小がみられ改善が見られた。一方で、飲食業、その他の業種が悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 13.2%、「やや悪い・悪い」との回答は 40.7%、D I 値は▲27.5 となった。

現状のD I 値（▲18.7）と比較すると、8.8 ポイント悪化の見通しとなっている。

業種別のD I 値を見ると製造業が▲4.3・建設業が▲39.9・卸売業が 0.0・小売業が▲31.6・飲食業が▲20.0・サービス業が▲50.0・交通運輸業が 0.0・その他の業種が▲57.2 となった。

業種別に現状のD I 値と比較すると、製造業が 34.9 ポイント、その他の業種が 14.2 ポイント改善の見通しであるが、建設業、卸売業、小売業、飲食業、サービス業は悪化する見通しとなった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について、「原材料高及び不足」（前期 50.0%）が最も多く 56.0%を占めた。次いで「売上・受注の停滞減少」が 34.1%（前期 50.0%）、「設備店舗の狭小老朽化」が 31.9%（前期 32.2%）と上位を占めた。業種別では製造業、建設業、卸売業、飲食業、サービス業、その他の業種は「原材料高及び不足」が最も多い結果となったが、小売業は「売上・受注の停滞減少」が最も多い結果となった。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は 21 社 23.1%（前期 11.1%）であった。前期と比較して 12.0 ポイント増加した。業種別では、製造業が 26.1%（前期 0.0%）、建設業が 33.3%（前期 20.0%）、卸売業が 0.0%（前期 0.0%）、小売業が 15.8%（前期 5.3%）、飲食業が 10.0%（前期 20.0%）、サービス業が 41.7%（前期 22.2%）、交通運輸業が 0.0%（前期 0.0%）、その他業種が 14.3%（前期 0.0%）となった。

上野商工会議所地区（調査対象 280 事業所 回答状 71 事業所）

現 状

令和 4 年 7～12 月の業況は、「良い・やや良い」が 19.7%（前期 13.5%）、「やや悪い・悪い」が 52.1%（前期 54.2%）となった。D I 値は▲32.4（前期▲40.7）となり、前期調査時に比べ 8.3 ポイント改善する結果となった。

業種別のD I 値を見ると、製造業が▲18.8（前期▲44.8）・建設業が▲20.0（前期▲43.8）・卸売業が 0.0（前期▲40.0）・小売業が▲43.7（前期▲64.4）・飲食業が▲16.7（前期▲37.5）・サービス業が▲53.9（前期▲27.7）・交通運輸業が▲100.0（前期 0.0）となった。

業種別では前期D I 値と比較して、製造業・建設業・卸売業・小売業・飲食業でマイナス幅の縮小がみられ改善が見られた。一方で、サービス業・交通運輸業が悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 15.5%、「やや悪い・悪い」との回答は 39.5%、D I 値は▲24.0 となった。

現状のD I 値（▲32.4）と比較すると、8.4ポイント業況の改善を見通している。

業種別のD I 値を見ると製造業が▲12.6・建設業が▲13.3・卸売業が 0.0・小売業が▲31.3・飲食業が▲16.7・サービス業が▲53.9・交通運輸業が 0.0 となった。

業種別に現状のD I 値と比較すると、製造業が 6.2ポイント、建設業が 6.7ポイント、小売業が 12.4ポイント、交通運輸業が 100.0ポイント改善を見通すほか、卸売業・飲食業・サービス業が 0.0ポイントと現在の水準で推移する見通しである。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について、「売上・受注の停滞減少」が最も多く 46.5%（前期 61.5%）、「人件費以外の経費増加」が 36.6%（前期 24.0%）、「原材料高及び不足」が 35.2%（前期 38.5%）と上位を占めた。

また、業種別では、建設業・小売業・サービス業で「売上・受注の停滞減少」が最も多く、製造業・飲食業では「原材料高及び不足」が最も多く、卸売業・交通運輸業では「設備店舗の狭小老朽化」が最も多かった。

【設備投資】

設備投資について、設備投資を実施した企業は 10社 14.1%（前期 19.8%）であった。前期と比較して 5.7ポイント減少した。

業種別では、製造業が 12.5%（前期 17.2%）、建設業が 13.3%（前期 12.5%）、卸売業が 33.3%（前期 20.0%）、小売業が 0.0%（前期 0.0%）、飲食業が 16.7%（前期 25.0%）、サービス業が 30.8%（前期 38.9%）、交通運輸業が 0.0%（前期 66.7%）となった。業種別では、サービス業が 4社と最も多かった。

名張商工会議所地域（調査対象 200 事業所 回答状況 83 事業所）

現 状

令和 4 年 7 月～12 月の業況は、「良い・やや良い」が 16.8%（前期 16.5%）、「やや悪い・悪い」が 38.6%（前期 56.3%）となった。D I 値は▲21.8（前期▲39.8）となり、前期調査時に比べ 18.0ポイント改善する結果となった。

業種別のD I 値を見ると、製造業が 0.1（前期▲31.3）・建設業が▲18.2（前期▲33.4）・卸売業が 0（前期▲62.5）・小売業が▲69.2（前期▲70.6）・飲食業が▲50.0（前期▲25.0）、サービス業が▲5.0（前期▲30.0）となった。業種別では前期D I 値と比較して製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業で改善が見られた。一方で飲食業が悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 16.9%、「やや悪い・悪い」との回答は 49.4%、D I 値は▲32.5 となった。

現状のD I 値（▲21.8）と比較すると、10.7ポイント業況の悪化を見通している。

業種別のD I 値を見ると製造業が▲14.3・建設業が▲27.3・卸売業が28.6・小売業が▲84.6・飲食業が▲50.0・サービス業が▲30.0となった。

業種別に現状のD I 値と比較すると卸売業で28.6ポイントの改善を見通すほか、飲食業は現在の水準で推移する見通しである。一方で製造業が14.4ポイント・建設業が9.1ポイント・小売業が15.4ポイント、サービス業が25.0ポイント悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について、「売上・受注の停滞減少」が最も多く39.8%（前期50.5%）、「原材料高及び不足」が31.3%（前期32.0%）、「人手不足」が19.3%（前期19.4%）、と上位を占めた。

また、業種別では、製造業・卸売業・飲食業で「原材料高及び不足」が最も多く、建設業・小売業・サービス業で「売上・受注の停滞減少」が最も多かった。

【設備投資】

設備投資について、設備投資を実施した企業は12社14.5%（前期12.6%）であった。前期と比較して1.9ポイント増加した。

業種別では、製造業が21.4%（前期12.5%）、建設業が4.5%（前期12.5%）、卸売業14.3%（前期0%）、小売業が15.4%（前期25.0%）、飲食業が66.7%（前期25.0%）、サービス業が5.0%（前期13.3%）、となり、飲食業が4社と最も多かった。

尾鷲商工会議所地域（調査対象125事業所 回答状況122事業所）

現 状

令和4年7～12月の業況は、「良い・やや良い」が11.5%（前期12.1%）、「やや悪い・悪い」が46.7%（前期53.2%）となった。D I 値は▲35.2（前期▲41.1）となり、前期調査時に比べ5.9ポイント改善する結果となった。

業種別のD I 値を見ると、製造業が▲18.8（前期▲12.6）・建設業が▲42.8（前期▲47.6）・卸売業が▲62.5（前期▲75.0）・小売業が▲52.4（前期▲65.0）・飲食業が▲16.7（前期▲71.4）・サービス業が▲47.0（前期▲36.8）・交通運輸業が▲33.3（前期▲25.0）・その他の業種が▲16.7（前期0.0）となった。

種別では前期D I 値と比較して飲食業では54.7ポイントと大きく改善が見られた他、建設業、卸売業、小売業で改善が見られた。一方で、製造業、サービス業、交通運輸業、その他の業種では悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が5.7%、「やや悪い・悪い」との回答は48.4%、D I 値は▲42.7となった。

現状のD I 値（▲35.2）と比較すると、7.5ポイント業況の悪化を見通している。

業種別のD I 値を見ると製造業が▲28.0・建設業が▲47.6・卸売業が▲75.0・小売業が▲57.1・飲食業が▲58.4・サービス業が▲41.2・交通運輸業が▲33.3・その他の業種が▲0.1となった。

業種別に現状のD I 値を比較すると、サービス業が5.8ポイント、その他の業種が16.6ポイントの改善を見通すほか、交通運輸業がほぼ横ばいする結果となった。

一方、製造業で▲9.2ポイント、建設業で▲4.8ポイント、卸売業で▲12.5ポイント、小売業で▲4.7ポイント、飲食業で▲41.7ポイント悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題については、前期に引続き「売上・受注の停滞減少」が最も多く49.2%（前期55.6%）、「原材料高及び不足」が48.4%（前期38.7%）、「人件費以外の経費増加」が24.6%（前期15.3%）、「設備店舗の狭小老朽化」が23.8%（前期21.8%）、「人手不足」が12.3%（前期16.1%）、「競争激化」が12.3%（前期12.1%）と上位を占めた。

業種別では、原材料高及び不足について、製造業では前期2位の46.9%から今期1位の59.4%へ増加した。

【設備投資】

設備投資について、設備投資を実施した企業は18社14.8%（前期17社13.7%）であった。前期と比較して1.1ポイント増加した。

業種別では、製造業25.0%（前期25.0%）、建設業14.3%（前期9.5%）、卸売業12.5%（前期0.0%）、小売業4.8%（前期0.0%）、飲食業0.0%（前期0.0%）、サービス業23.5%（前期26.3%）、交通運輸業0.0%（前期0.0%）、その他の業種0.0%（前期33.3%）となり、前期と比較し、卸売業が12.5ポイントと最も増加幅が大きく、その他の業種が▲33.3ポイントと最も減少幅が大きい結果となった。設備投資を実施した企業数では、製造業が8社と最も多かった。

熊野商工会議所地区（調査対象200事業所 回答状況68事業所）

現 状

令和4年7～12月の業況は、「良い・やや良い」が14.7%（前期11.0%）、「やや悪い・悪い」が54.5%（前期57.2%）となった。DI値は▲39.8（前期▲46.2）となり、前期調査時に比べ6.4ポイント改善する結果となった。

業種別のDI値を見ると、製造業が▲18.2（前期▲13.4）・建設業が▲54.6（前期▲40.1）・卸売業が0.0（前期▲25.0）・小売業が▲72.2（前期▲77.7）・飲食業が▲16.7（前期▲60.0）・サービス業が▲6.6（前期▲33.3）・その他の業種が▲100.0（前期▲20.0）となった。

業種別では前期DI値と比較して卸売業、小売業、飲食業、サービス業で改善が見られた。特に飲食業、サービス業については、マイナス幅の縮小がみられ改善が見られた。一方で、製造業、建設業、その他の業種が悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が8.9%、「やや悪い・悪い」との回答は51.5%、DI値は▲42.6となった。

現状のDI値（▲39.8）と比較すると、2.8ポイント業況の悪化を見通している。

業種別のDI値を見ると製造業が▲54.6・建設業が▲27.3・卸売業が▲66.7・小売業が▲66.7・飲食

業が▲16.7・サービス業が▲13.3・その他の業種が▲75.0となった。

業種別に現状のD I 値と比較すると、建設業が 27.3 ポイント・小売業が 5.5 ポイント・その他の業種が 25.0 ポイント改善を見通すほか、飲食業が 0.0 ポイントと現在の水準で推移する見通しである。一方で製造業は 36.4 ポイント・卸売業は 66.7 ポイント・サービス業は 6.7 ポイント悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く、45.6%（前期 48.4%）、「原材料高及び不足」が 33.8%（前期 41.8%）、「人手不足」が 23.5%（前期 16.5%）と上位を占めた。

また、業種別では、卸売業が、前期 1 位「売上・受注の停滞減少」75.0%・前期 2 位「原材料高及び不足」から今期 1 位「売上・受注の停滞減少」・「製品・商品単価の下落」・「人手不足」・「設備店舗の狭小老朽化」・「人件費以外の経費増加」・「原材料高及び不足」・「人材育成」33.3%に変動した。

「売上・受注の停滞減少」・「原材料高及び不足」以外の課題も表面化している状況が窺える。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は 6 社 8.8%（前期 18.7%）であった。前期と比較して 9.9 ポイント減少した。業種別では製造業・建設業が 2 社と最も多かった。

景況調査票

令和5年1月

※各設問に対して該当するものに○をして下さい。

I. 企業の概要

1 業種 (主たるもの1つ)

〈製造業〉	1.食料品	2.繊維品	3.機械製品	4.金属製品	5.木材木製品
〈建設業〉	6.化学製品	7.土石業	8.印刷・出版	9.その他	
〈卸売業〉	10.土木工事	11.建築工事	12.その他		
〈小売業〉	13.食料品	14.繊維・身の回り品	15.その他		
〈飲食業〉	16.繊維・身の回り品	17.食料品	18.家具・日用品	19.電気製品	20.その他
〈サービス業〉	21.飲食店				
〈交通運輸業〉	22.美容・理容	23.ホテル・旅館	24.自動車整備	25.不動産	26.その他
	27.交通運輸	〈その他〉	28.その他		

2 常時使用従業員数(会社の役員・家族従業員・パートを除く)

1. 0～5人	2. 6～20人	3. 21～50人	4. 51～100人	5. 101人以上
---------	----------	-----------	------------	-----------

II. 企業の経営状況について

3 現状について…令和4年7～12月の業況は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 良	い	2. やや良	い	3. 変わらない	4. やや悪い	い	5. 悪	い
------	---	--------	---	----------	---------	---	------	---

理由: 

4 今後の見通しについて…令和5年1～6月の業況は前年同期に比べてどうなと思いますか。

1. 良	い	2. やや良	い	3. 変わらない	4. やや悪い	い	5. 悪	い	6. わからない
------	---	--------	---	----------	---------	---	------	---	----------

理由: 

5 売上状況について…令和4年7～12月の売上は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 増	加	2. やや増	加	3. 変わらない	4. やや減	少	5. 減	少
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---

6 売上の見通しについて…令和5年1～6月の売上は前年同期に比べてどうなと思いますか。

1. 増	加	2. やや増	加	3. 変わらない	4. やや減	少	5. 減	少	6. わからない
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---	----------

7 利益状況について…令和4年7～12月の利益は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 増	加	2. やや増	加	3. 変わらない	4. やや減	少	5. 減	少
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---

8 販売条件(単価・決済方法)について…令和4年7～12月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好	転	2. やや好	転	3. 変わらない	4. やや悪	化	5. 悪	化
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---

9 仕入条件(単価・決済方法)について…令和4年7～12月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好	転	2. やや好	転	3. 変わらない	4. やや悪	化	5. 悪	化	6. 仕入なし
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---	---------

10 設備投資について

令和4年7～12月の実績		令和4年7～12月の予定	
1. 行った	2. 行わない	1. 予定あり	2. 予定なし

↑

11 資金繰りの現状について…令和4年7～12月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好	転	2. やや好	転	3. 変わらない	4. やや悪	化	5. 悪	化
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---

12 資金繰りの見通しについて…令和5年1～6月は前年同期に比べてどうなと思いますか。

1. 好	転	2. やや好	転	3. 変わらない	4. やや悪	化	5. 悪	化	6. わからない
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---	----------

13 借入の現状について…令和4年7～12月はどうでしたか。(借入された方のみ)

1. 容	易	2. 普	通	3. 困	難
------	---	------	---	------	---

14 借入予定はどうか…(令和5年1～6月)

1. 予定している	2. 予定していない
-----------	------------

14-① 借入先は、どこを希望されますか。(主たるもの一つ)

1. 民間金融機関	2. 公的金融機関	3. その他
-----------	-----------	--------

↑

14-② 資金用途は何を予定されていますか。(主たるもの一つ)

1. 運転資金	2. 設備資金
---------	---------

↑

15 現在経営上で、困っている問題点は何ですか。あれば3つ以内で選んでください。

1. 売上・受注の停滞減少	6. 設備・店舗の狭小老朽化	11. 競争激化
2. 製品・商品単価の下落	7. 売掛・債権回収の悪化	12. 人材育成
3. 人手不足	8. 人件費の増加	13. 立地条件の悪化
4. 過剰人員	9. 人件費以外の経費の増加	14. 法的規制等(緩和を含む)
5. 借入難	10. 原材料高及び不足	15. 税務・経理問題

16 その他困っている問題・御意見等があれば御記入ください。

特にコロナウイルス感染症の影響、国・県などの経済支援策の活用状況や、今後行政へ希望する対策などを含めて御記入ください。

()